

先進自治体に学んで

総務経済常任委員会



10月23～25日、山形県高畠町・白鷹町を行政視察しました。

・高畠町

高畠町は、同町が農業振興、主に水稻で「稼げる農業」を掲げている有機農業の推進について視察し、特に、若手農業者が交流を深めながら、町の農業の将来を検討し実践している民間主導立ち上げの「たかはた農とぴあ計画」が大変参考になりました。

・白鷹町

白鷹町は、第三セクターが管理運営する温泉宿泊施設の指定管理の再検討として、サウデイング型市場調査を実施して新しく決まった指定管理者の選定方法が印象的でした。この度は、行政からも同行し、同じ目線で一緒に視察を行いました。そのほか第三セクター鉄道等多くのこと参考になり、早速行政と力をあわせ、施策の推進にあたります。



教育福祉常任委員会

11月7～9日、山形県遊佐町、高畠町、米沢市を行政視察しました。

取組み概要

・遊佐町「少年議会」

中学生、高校生が自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実践に体験・学習することで社会の構成システムを学ぶ。

・高畠町「廃校活用事業」

廃校が決定した段階で、統合施設と同時に廃校施設の活用方法の検討・利用等の意見収集に着手。具体的には、「高畠熱中小学校」、「サテライトオフィス」等に。

・米沢市「食育事業」

子育て支援課の職員が毎月保育園を訪問して食育講座を実施し、園児に興味を持ってほしいテーマに沿った話をする。

・米沢市「不登校支援対策」

教育支援センターの役割りとして、児童生徒の居場所づくり、将来の社会的自立を目指すためにガイダンス教室が設置されている。



広報公聴常任委員会

11月28日に鳥取県北栄町に「広報及び公聴の取り組みについて」の目的で視察しました。

議会だよりの編集方針は町民目線での「正しく・見やすく・読みやすく」で、親しみやすいものにするということです。

また、希望される自治会で5月から11月に議会出前講座を開催され、各常任委員会の活動報告と自治会からの提出議題についての意見交換を実施されています。

さらに議会主導で町執行部を相手に高校生議会を開催、北栄町の将来や思いを活発に提案されていました。

